

## クロロスルホン酸

別名:

Cl - SO<sub>3</sub>H

劇物(クロロスルホン酸)

(性状) 無色ないし淡黄色の油状の液体で、激しい刺激臭がある。水と激しく反応して塩化水素と硫酸とになる。

空气中で発煙する。吸湿性が強い。沸点152、比重(18)1.766

### 措置

#### 漏えい時

風下の人を退避させる。必要があれば水で濡らした手ぬぐい等で口及び鼻を覆う。漏えいした場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。

作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。

(少量) 漏えいした液はベントナイト、活性白土、石膏等を振りかけて吸着させ空容器に回収した後、多量の水を用いて洗い流す。

(多量) 漏えいした液は土砂等でその流れを止め、霧状の水を徐々にかき、十分に分解希釈した後、ソーダ灰、消石灰等で中和し、多量の水を用いて洗い流す。

この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

#### 出火時

(周辺火災の場合)

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。この場合に水が入らないよう注意する。

(着火した場合)

-----  
(消火剤)  
-----

#### 暴露・接触時

人体に対する影響

(吸入した場合)

煙霧を吸入すると肺が侵され、はなはだしい場合は意識不明となる。

(皮膚に触れた場合)

はげしいやけど(薬傷)を起こす。

(眼に入った場合)

粘膜が激しく刺激され、失明することがある。

#### 救急方法

(吸入した場合)

直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の手当てを受ける。呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。

呼吸困難のときは酸素吸入を行う。

(皮膚に触れた場合)

直ちに付着又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。

汚染された衣服やくつは速やかに脱がせる。速やかに医師の手当てを受ける。

(眼に入った場合)

直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。速やかに医師の手当てを受ける。

### 注意事項

- 1.可燃物、有機物と接触させない。
- 2.水と急激に接触すると多量の熱を発生し、酸が飛散することがある。
- 3.水と反応して生じた塩酸及び硫酸は、各種の金属を腐食して水素ガスを発生し、これが空気と混合して引火爆発することがある。
- 4.直接中和剤を散布すると発熱し、酸が飛散することがある。

### 保護具

保護手袋(ゴム)、保護長ぐつ(ゴム)、保護前掛(ゴム)、保護衣、保護眼鏡、酸性ガス用防毒マスク